

平成 28 年 7 月 11 日
岩手県教育委員会学校教育室

1 趣旨

学習指導要領における生徒の思考力、判断力、表現力の育成及び「グローバル化に対応した英語教育改革実施計画」における言語活動の高度化に鑑み、社会に通用する英語力の向上に向けた取組を通じて生徒の英語発信力の向上に資する。

2 主催

岩手県教育委員会

3 期日

平成 28 年 10 月 28 日（金）

4 会場

岩手県立総合教育センター

〒025-0395 岩手県花巻市北湯口第 2 地割 82 番 1 電話（代表）0198-27-2711 FAX 0198-27-3562

5 参加条件

- （1）岩手県内の高校生を対象とする。ただし、英語のネイティブスピーカーを除く。
- （2）以下の海外生活経験者等の条件に該当する者は 1 チーム 2 名までとし、各試合に出場できるのは 1 名までとする。（試合ごとの変更は可能）
 - ア 英語を第 1 言語とする国で 12 か月以上滞在経験のある生徒（就学前の滞在は不問）
 - イ 英語を第 2 言語とする国の出身である生徒（就学前の滞在は不問）
 - ウ 家庭で常用的に英語を使用している生徒
- （3）出場校の日本人英語教員が引率者となること。

6 チーム構成

- （1）1 校から参加できるのは 2 チームまでとする。
- （2）1 チームの登録選手は 4 名から 6 名とし、各試合のチェアパーソン（司会）は原則として肯定側チームの生徒（登録選手である必要はない）が担当する。
- （3）各試合への出場選手は 4 名とし、試合ごとの選手の入れ替えは可能とする。

7 引率教員

引率教員は 1 チームにつき 1 名とし、当日は試合のジャッジを担当するものとする。ついては、ジャッジ講習会を行うので、引率教員は次の講習会に参加することとする。なお、講習会の講師は立教大学経営学部国際経営学科教授 松本 茂 氏を予定している。

平成 28 年 9 月 6 日（火）10:00～16:00 岩手県立盛岡第三高等学校

8 論題

The Japanese government should adopt a social security system that provides a basic income to all Japanese citizens..

日本政府は、日本のすべての市民にベーシック・インカムを給付する社会保障制度を採用すべきである。是か非か。

9 日程詳細

後日、組合せとともに参加校に通知する。

10 競技規則

基本的には全国高校生英語ディベート大会に準じるが、参加校数等を考慮し、若干の変更もあり得ることから、詳細については参加校に後日通知する。

11 大会申込方法

参加申込書（様式1）を下記担当者まで電子メールにて9月1日（木）までに申し込むこと。

12 上位大会への出場権・経費等

- （1）優勝校1校は県代表として本年12月に茨城県水戸市で開催される全国高校生英語ディベート大会への出場権が与えられる。なお、参加校が10校以上の場合は上位2校に出場権が与えられる。
- （2）全国大会への参加経費については、参加校負担とする。
- （3）全国大会に出場権を得たチームが参加辞退を申し出た場合、次点のチームが出場権を得るものとする。

13 その他

本大会は、本県出身の詩人宮沢賢治が花巻農学校（現 花巻農業高校）での教師時代、既にディベートを授業に取り入れていたことにちなんで、Kenji Cup と命名して開催するものである。

担当

主任指導主事 菅野 誠二

TEL 019-629-6162

FAX 019-629-6144

E-mail: seiji-kannno@pref.iwate.jp